

コファの木の祟り (The Haunting of Cofa's Tree)

アドベンチャー概要

プレイヤー・キャラクター (PC) は、ノルマンの領主のエージェントか、国王のドゥームズデイ調査官として、ウォリックシャーの莊園コヴェントリー (Coventry) 村に、旧サクソン尼僧院 / 新ベネディクト会修道院周辺での深刻な生産性低下と高まる恐怖の原因を調査するために派遣されます。

地元のイングランド人 (サクソン人) は、この奇妙な出来事の原因を、集落の半ば神話的な創設者コファ (Cofa) のさまよう靈と、新しいノルマン人領主の弓兵ニコラス (Nicholas the Bowman) にかけられた呪いだとして非難しています。

しかし、問題の根源は、ノルマン人の修道院が権利を主張し、現在建設を進めている古代の聖地コファの木 (Cofa's Tree) の近くの地面から漏れ出している、微妙な超自然的な毒にあります。

舞台設定：コヴェントリー、西暦 1086 年頃

1086 年頃のコヴェントリーは、規模は小さいものの重要な集落であり、主にサクソン人のレオフリッチ (Leofric) 伯とその妻ゴダイヴァ伯爵夫人 (ゴードイヴ) (Countess Godiva / Godgifu) によって 1043 年に建立された聖マリア・ベネディクト会修道院を中心としています。

- 莊園と領主 (ドゥームズデイの事実) :
 - 受封者 (1086 年) : ゴダイヴァ伯爵夫人。依然として土地を所有していますが、ノルマン人の権威下にあります。彼女は、強力で敬虔、そしておそらく老齢のサクソン貴族の女性です。
 - 領主 (1086 年) : 弓兵ニコラス。ウィリアム王に任命されたノルマン人で、地元のイングランドの慣習を無視しながら、莊園の管理、税の徴収、王の平和の執行に努めるよそ者です。
 - 修道院 : 野心的なノルマン人の院長が監督する、莊園の強力な宗教的中心地。修道院は積極的に拡張しており、それは古代の非キリスト教的な土地を侵食することを意味します。
 - 人口 : 約 69 世帯 (村民 50、地片持ち 12、農奴 7) で、この地域では最大の集落の一つです。この構成が社会的な緊張を生み出しています。

- 伝承と歴史的緊張：
 - コファの木：集落の名前は、コファという族長と木に由来するとされています。この古代のサクソン人にとって聖なる木があったとされる場所で、修道院の新しい井戸または建物の基礎が掘られています。
 - 貴婦人ゴダイヴァの遺産：善良なサクソン人の領主であった貴婦人ゴダイヴァ（ゴードイヴ）の記憶が重くのしかかっています。イングランド人は彼女の名前を、ニコラスの過酷な支配と対比させるために用います。伝説の裸の騎行は、初期の非裸体版であっても、ノルマン人が軽蔑するサクソン人の公正な統治の伝統を表す教訓話です。
 - 池 / 水車堰：シャーボーン川は、粉挽場と、後に聖オズバーグ（St. Osburg）の池 / 水車堰として知られる水たまりに水を供給しています。水は「渦（Maelstrom）」の乱れのエントリーポイントとなるため、この水域が奇妙な出来事の焦点となる可能性があります。

紛争と超自然的な脅威

忘れられた大地の病：修道院の拡張により、コファの木があった場所、またはまだ病的に残っている場所の近くで、古代の、キリスト教以前の埋葬地または聖地であるコファの墓所や立石群などが掘り起こされました。その地面からは、悪意に満ちた心霊的な怨嗟の瘴気（Miasma of Resentment）が漏れ出しています。

- **影響：**この瘴気は、特に長く抑圧されてきたイングランド人の農民の意志力（Will）と体力（Endurance）を標的にします。それは、原因不明の衰弱病（急速な疲労、パラノイア、発熱）と、ノルマン人の領主や役人に対する暴力を扇動する憤怒の夢として現れます。
- **物理的な現れ：**冒涜された土地の近くの川で動く修道院の粉挽場は、製粉した穀物をパンに混ぜて微妙に汚染し、イライラ、軽度のせん妄、そして軽度の反抗的な共同行為（例：農民が水車の使用料の支払いを拒否する）を引き起こします。
- **亡霊：**井戸や古代の木の近くで、コファのさまよう霊または古代の木の精 / 大地の精霊の不気味な姿が時折目撃されます。それは、大きく、サクソン人の戦士 / 創設者だった可能性のある片腕の男の影です。

推奨されるシーン

1. **コヴェントリーへの到着：**PC は弓兵ニコラスの宿舎に泊まります。彼は地元の「サクソン人の迷信」を一蹴します。彼は、自分の財政難の原因は呪いではなく、イングランド人の生産性の低さと「怠惰」にあると指摘します。彼は PC に、騒動の扇動者を見つけるよう要求します。
2. **病に冒された村：**PC が農民の小屋を調査すると、村人が実際に病気であり、体力が低下し、暴力的で鮮明な悪夢に苦しんでいることを発見します。彼らは「大地からのうめき声」について話します。

3. **院長の拡張**：ノルマン人の院長は熱心な人物で、「野蛮な」土地をキリスト教化することに、農民の生活よりも関心を持っています。彼は、コファの木が立っていた、またはまだ立っている建設現場に警備員を配置しています。彼は PC の調査を妨害します。
 4. **粉挽場の秘密**：修道院の主要な経済資産である粉挽場の調査により、奇妙な現象が明らかになります。臼臼が奇妙な音を立てて回り、内面で葛藤するサクソン人の粉挽きはパラノイア状態です。PC は汚染された小麦粉を見つけ、自身も病気になるリスクを負います。
 5. **大地を穿った場所での対決**：クライマックスは、古代の聖地で起こります。PC は、**A)** サクソン人の村人とノルマン人の院長 / 領主との間で、大地を穿った精霊への恒久的で神聖な捧げ物をするなど、休戦を交渉するか、**B)** 瘡氣 / 精霊を暴力的に祓うかを選択しなければなりません。後者を選べば、PC を冒涜者と見なす地元住民による公然の反乱のリスクを負います。
-

レフリーへのアドバイス

- **道徳的な曖昧さ**：ノルマン人の領主は厳しく傲慢ですが、イングランド人の農民もまた、超自然的な力によって狂気と扇動に駆り立てられています。簡単な「善玉」側はいません。
 - **成功条件**：PC の成功は、怪物を倒すことではなく、反乱を引き起こさずに生産性を回復させる解決策を見つけることです。政治的 / 精神的な解決策が求められる可能性が高いでしょう。
 - **妥協案**：ニコラスが穀物税をわずかに引き下げる（ゴダイヴァの遺産に訴える）に同意し、院長が古代の聖地に（オークの葉の彫刻が施された祭壇など）古いやり方を尊重するキリスト教の目印を奉納すること。
 - **失敗**：公然の反乱が発生し、粉挽場が焼かれ、PC は農民を残忍に鎮圧せざるを得なくなり、PC の不名誉とニコラスの一時的な成功（だが長期的な生産性の損失）につながります。
 - **ホラー要素**：ホラーは微妙なものに留めてください。農民の健康と正気のゆっくりとした蝕み、古代の聖地のそばにある身も凍るような存在感、そして瘴氣の抑圧的な、湿った空気に焦点を当ててください。
-

ゲームシステムの提案

『Maelstrom : ドゥームズデイ』は、能力値と技能に対して D100 パーセンテージロールによる下方ロールを使用します。

アドベンチャーに役立つ能力値

能力値 (Attribute)	アドベンチャーでの用途
知覚力 (Perception)	疫病の微妙な兆候の発見、古代の聖地の発見、秘密主義の村人の観察。
説得力 (Persuasion)	頑固な院長や、恐れ、恨みを抱く村人との交渉。
知識 (Knowledge)	奇妙な病気の症状の認識、古代のサクソン人の儀式の識別、地元の植物 / 薬草の知識。
体力 (Endurance)	怨嗟の瘴気や汚染された小麦粉の影響への抵抗。
意志力 (Will)	憤怒の夢に抵抗し、社会的な摩擦の際に冷静さを保つ。

アドベンチャーに役立つ技能

技能 (Ability)	関連するルール	潜在的な用途
【薬草術】、【医薬】	治療	衰弱病の診断と治療（世俗的または超自然的な対抗薬の発見が必要）。
【物々交換】、【脅迫】、 【うわさ話】、【陰謀】	《威嚇》、《魅了》、《説得》、《賄賂》	恐れるイングランドの村人や秘密主義のノルマン人役人から真実を引き出す。

[教育] (ランクⅢ) 、 [宗教]	「説教」	院長との儀式の解決策の交渉、異教の汚染の兆候の識別。
[地方知識]	—	コヴェントリ一周辺の古代の、未記録の道や伝承の場所を見つける。
[超自然知識]	〈「渦」の有標〉、〈魔力感知〉	怨嗟の瘴気の存在と強さを検出する。

NPC の能力値と主要な特徴

NPC	主要な特徴と動機	関連能力値 (高)	関連技能 (高)
弓兵ニコラス、ノルマン人領主	傲慢で、賦課金と権力に关心があり、イングランドの慣習を軽視する。	攻撃力、体力、説得力	戦闘訓練、教育Ⅲ、脅迫、剛弓
シモン院長 (Prior Simon) 、ノルマン人修道士	熱心で、修道院の拡張と異教の影響の排除に关心がある。	意志力	製作 (石工) 、教育Ⅲ、読み書き (ラテン語)
寡婦ゴダイヴァ、老齢のサクソン人伯爵夫人	敬虔で、古き良き、公正な道の象徴であり、サクソン人の抵抗の微妙な中心人物。	意志力、説得力	薬草術、地方知識
エルフガール (Ælfgar) 、サクソン人の代官 (Reeve) / 村長	恐れを抱き、葛藤しており、消極的な抵抗を率いているが、木の精を恐れている。	体力、知覚力 (初期は高いが、現在は怨嗟の瘴気により低い)	農耕、地方知識、《説得》 (奮起した時)